

自己点検・評価シート

平成24年度 第9次鳥取市総合計画

整理No.	1-(1)-(2)	事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-------	-----------	-------	-----------------	-----	----------------

1. 基本情報

総合 位置 づけ 計画 の	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全小・中学校
意図 (どのような状態にするために)	市立小中学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取り組み内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	年度別計画	全小中学校及び幼稚園、5中学校区で実施する。	全小中学校、5中学校区で実施する。	全小中学校、5中学校区で実施する。	全小中学校、5中学校区で実施する。
年度別実績	小学校44校、中学校18校、幼稚園3園、5中学校区(東・江山・湖南学園・福部・用瀬中学校区)で実施した。	小学校44校、中学校18校、4中学校区(東・湖南学園・福部・用瀬中学校区)で実施した。	小学校44校、中学校18校、3中学校区(東・湖南学園・福部・用瀬中学校区)で実施した。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	21,059	22,238	21,683	19,188
	直接経費 A	18,647	19,763	19,455	19,188
	直接経費の財源内訳	国・県			
	地方債				
	その他				
	一般財源	18,647	19,763	19,455	19,188
	人件費 B	2,412	2,475	2,228	
職員数の内訳	正規職員	0.33	0.33	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	

4. 平成23年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	1 事業の概要 地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組に関して、各学校が企画立案したものを教育委員会が評価・査定をし、必要な予算を措置する。市は、鳥取市小学校教育研究会及び鳥取市中学校教育振興会に委託して事業を実施する。
	2 事業の成果 ① 一律支援予算による事業 従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、児童・生徒数に応じて自主的に学校が運営できる予算として配分した。 ② 特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して、評価・査定を行った上で予算配分した。

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

	指標名	単位	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	事業を実施した学校・中学校区数		目標	70	67	67	66	66
			実績	70	66	65		
2			目標					
			実績					
(指標の説明)								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
指標達成率	事業を実施した学校・中学校区数		100%	99%	97%		
2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校が提出する事業計画（企画）により予算配分しており、校長の学校経営に対する意識改革が進んだ。「各学校が創意工夫を生かして特色ある教育、特色ある学校づくりを進める」という学習指導要領のねらいを達成するために、今後も継続して取り組む必要がある。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	校長の裁量幅を広げてきており、現場からは大変有効な事業であるとの評価が届いている。各学校の取り組みが前年度踏襲とならないよう、新たな課題を設定した事業展開を今後も工夫していく必要がある。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事前協議書および事業計画の提出から予算決定までの事務処理を効率的に行い、予算配分の時期を昨年度よりも早め、より有効に事業が展開できるよう配慮した。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての小中学校に一律支援予算を配分しており、基盤整備的事業は計画的に取り組めるようにしている。受益者負担及び個人給付的なものは事業の対象としないことを基本としている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
			地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組を進めていく必要がある。
担当課等の評価コメント			
今後の課題・方向性			本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特色ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実させていきたい。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	小学校、中学校の方針や校風が画一的である必要は無く、それぞれの学校が校長の下、個性や魅力を出し合って切磋琢磨することは良いことで、生徒のためにもなる。ただし、基礎的な教育のところは、最低限保証した上での個性の創出であって欲しい。そうでないと、単に行事が増え、生徒、先生、保護者が疲弊するだけになるから。そういう意味からも実施内容はお任せでなく、しかるべき精査と、調整は必要であると考える。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	教育行政の観点からは、各学校の自主性を高めることで目的が達成されていると判断されるが、事業費の有効性の観点からは各学校で実施された事業が当初の目的に対して効果を発揮したかという側面も無視できない。各学校で年度ごとに計画を立案し実施する過程で、目的の妥当性や成果の検証が意識されることが望ましい。
--------	---